

|           |            |
|-----------|------------|
| 講義名       | 研究演習       |
| 講義コード     | 45066      |
| 担当教員      | 竹内 信行      |
| 開講期・曜日・時限 | 通年 木曜日 5時限 |
| 備考        |            |

|                         |
|-------------------------|
| ゼミ                      |
| 学部ゼミ                    |
| 学部                      |
| 経済学部                    |
| 学科                      |
| 経済学科                    |
| 演習名                     |
| 竹内ゼミナール(経済発展・開発経済・国際経済) |

|   |
|---|
| 概要説明  |
| <p>-----</p> <p>概要</p> <p>世界には、日本のような経済大国から人々が1日2ドル未満で暮らす発展途上国まで、様々な経済状況の国が存在しています。なぜ、このような差が生じているのでしょうか？そして、経済発展を成し遂げるには何が必要なのでしょう？経済発展論はこうした問いを考える経済学の一分野で、マクロ経済学 / ミクロ経済学 / 国際経済学などのトピックを幅広く含んでいます。本演習では、そうした経済発展論のテキストなどを、発表者の報告をもとにゼミ生全員でじっくり読み進めていきます。</p> <p>わからないところはゼミのメンバー全員(教員も含む)で教えたり教えられたりしながら、しっかりと経済学の考え方を身につけていきましょう。座学が中心で派手さはないかもしれませんが、みんなで楽しく勉強などのゼミ活動をし、知識・よい人間関係・よい思い出を築いていきましょう。</p> <p>-----</p> <p>各年の計画</p> <p>-----</p> <p>【研究演習Ⅰ】</p> <p>統計学 or 経済学の基本書を輪読します<br/>ゼミ活動を通して学生生活や社会で必要となる PC スキル(表計算や文書作成など)を習得します</p> <p>【研究演習Ⅱ】</p> <p>経済発展論・開発経済学・国際経済学といった分野のテキストを輪読します</p> <p>【卒業研究】</p> <p>各自、テーマを決めて卒業研究に取り組み、最終的には卒業論文を執筆します</p> <p>上記はあくまでも予定です。実際に何をやるのかはメンバー全員で相談しながら考えていきましょう</p> <p>-----</p> <p>ゼミのすすめ方</p> <p>毎回、発表者(2名程度)に報告をしてもらい、それをもとにみんなで議論を行います</p> <p>例：輪読の場合</p> <p>(ゼミ前) あらかじめ全員が各自でテキストを読み、わからなかった箇所などをまとめておきます</p> <p>(ゼミ当日)発表者がテキストの担当箇所を報告します<br/>発表者やゼミ生がわからなかったところをみんなで考えます<br/>最終的にはゼミ生全員がテキストの内容を理解できることを目指します</p> |

|         |
|---------|
| 学位      |
| 博士(経済学) |

|   |
|---|
| 教員よりの要望   |
| <p>一言]</p> <p>ゼミ活動はメンバー全員(教員も込み)で作り上げていくものです。学生生活を楽しく気持ちよくさせるよう、よいゼミを作っていきますよう。</p> <p>【こんな方をお待ちしています】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済発展や国際経済、発展途上国の問題に関心がある方</li> <li>・ 変に気取らず / 素直に / マジメに / 地道に、ゼミ活動に取り組める方</li> <li>・ 失敗を過度におそれない方、また他人の失敗に寛容な方</li> <li>・ 相手の考えを理解・尊重しながら、ともに議論や意見交換、行動ができる or しようと努力できる方</li> </ul> |

|                    |
|--------------------|
| 教員英字氏名             |
| TAKEUCHI, Nobuyuki |

|         |
|---------|
| 研究室     |
| 11 2606 |

|                           |
|---------------------------|
| 最終学歴                      |
| 神戸大学大学院国際協力研究科博士課程後期課程 修了 |

|   |
|---|
| 主な研究活動・社会活動・研究業績  |
| <p>【主な研究活動】</p> <p>経済発展論・国際経済学に関する理論研究を行っています</p> <p>-----</p> <p>【主な研究業績】</p> <p>『工業化と政府の役割：小国開放経済のケース』『国際協力論集』18(3), 81-105 (2011).<br/>" Reconsidering the Effect of Economic Development on Urban Unemployment under NonhomotheticPreferences. " Economics Bulletin, 35(1), 313-321 (2015).<br/>『要素蓄積、技術進歩と都市失業 Harris-Todaroモデルによる分析 』『国際協力論集』24(2), 39-75 (2017).</p> |

|             |
|-------------|
| 主な卒業論文のタイトル |
| まだ卒業生はいません  |

|  |
|--|
| 趣味・特技  |
| <p>【趣味】</p> <p>おしゃべりをするこゝ、のんびり一日を過ごすこと</p> <p>【特技】</p> <p>とくにありません</p> |

|      |
|------|
| 所属   |
| 経済学部 |

|                  |
|------------------|
| 所属学会             |
| 日本国際経済学会， 国際開発学会 |

|             |
|-------------|
| 専門分野        |
| 経済発展論，国際経済学 |

|  |
|--|
| 選考方法   |
| <p>「思ったたゼミと違う！」というミスマッチが学生と教員の双方にとって最大の不幸です。そうした事態を避けるため、以下の手順で選考を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ゼミの個別ガイダンスに必ず出席してください。事前に教員と一度も話したことがない方が応募した場合は、入ゼミをお断りする場合があります</li> <li>2. その上で「このゼミならがんばれそうだ」と感じた方は、ぜひ演習申込書をしっかり記入し、申し込んでください</li> <li>3. 演習申込書，成績および面接により選考します</li> </ol> |

|  |
|--|
| 担当科目   |
| マクロ経済学，経済数学，公共経済論，基礎能力(新聞を読む)，自己発見とキャリア開発A・B |

|    |
|----|
| 備考 |
|    |

|   |
|---|
| 評価方法  |
| 出席状況・演習での発表・参加姿勢・提出課題から総合的に評価します。また、発表担当時の無断欠席など、ゼミメンバーの迷惑になる行動やあまりに"非常識な行動"に対しては厳しい判断をします(そうしたことが起きないことを切に願います)。 |